パーゴラA・Bタイプ

取付説明書

●このたびは、東洋エクステリア製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
●正しく施工、組付をしていただく為に、施工前に必ず取付説明書をお読み下さい。

■目　　次

ページ

●パーゴラAタイプ
梱包明細・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
取付説明・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2～6

●パーゴラBタイプ
梱包明細・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7
取付説明・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8～19

■梱包明細書　パーゴラAタイプ

●支柱

名　　称		員数
支柱ASSY		1
支柱化粧材取付ボルト	全ネジボルト M8＊205L	12
支柱化粧材取付袋ナット	M8 3形	24
支柱化粧材取付バネ座金	M8	24
支柱化粧材取付平座金	M8	24
取付説明書		1

●端部桁A

名　　称		員数
端部桁A ASSY		1
桁キャップ		1
桁連結金具A		2
桁固定ボルト	六角ボルト M10＊25L Wセムス	8
桁連結ボルト	六角ボルト M10＊20L Wセムス	2
桁連結ボルト	六角ボルト M10＊120L	4
桁連結袋ナット	M10 3形	4
桁連結バネ座金	M10	8
桁連結平座金	M10 みがき丸	8
垂木取付ボルト	六角ボルト M10＊85L	10
垂木取付袋ナット	M10 3形	10
垂木取付バネ座金	M10	10
垂木取付平座金	M10 みがき丸	20
桁キャップ取付ビス	φ3.8＊32サラ特殊ALCネジ	4

●単独桁

名　　称		員数
単独桁ASSY		1
桁連結金具A		2
桁キャップ		2
桁固定ボルト	六角ボルト M10＊25L Wセムス	8
桁キャップ取付ビス	φ3.8＊32サラ特殊ALCネジ	8
垂木取付ボルト	六角ボルト M10＊85L	12
垂木取付袋ナット	M10 3形	12
垂木取付バネ座金	M10	12
垂水取付平座金	M10 みがき丸	24

●支柱化粧材

名　　称		員数
支柱化粧材A	L=2336	2
支柱化粧材B	L=2336	2

●端部桁B

名　　称		員数
端部桁B ASSY		1
桁キャップ		1
桁連結金具A		1
桁固定ボルト	六角ボルト M10＊25L Wセムス	4
垂木取付ボルト	六角ボルト M10＊85L	10
垂木取付袋ナット	M10 3形	10
垂木取付バネ座金	M10	10
垂木取付平座金	M10 みがき丸	20
桁キャップ取付ビス	φ3.8＊32サラ特殊ALCネジ	4

●中間桁

名　　称		員数
中間桁ASSY		1
桁連結金具A		1
桁固定ボルト	六角ボルト M10＊25L Wセムス	4
桁連結ボルト	六角ボルト M10＊20L Wセムス	2
桁連結ボルト	六角ボルト M10＊120L	4
桁連結袋ナット	M10 3形	4
桁連結バネ座金	M10	8
桁連結平座金	M10 みがき丸	8
垂木取付ボルト	六角ボルト M10＊85L	8
垂木取付袋ナット	M10 3形	8
垂木取付バネ座金	M10	8
垂水取付平座金	M10 みがき丸	16

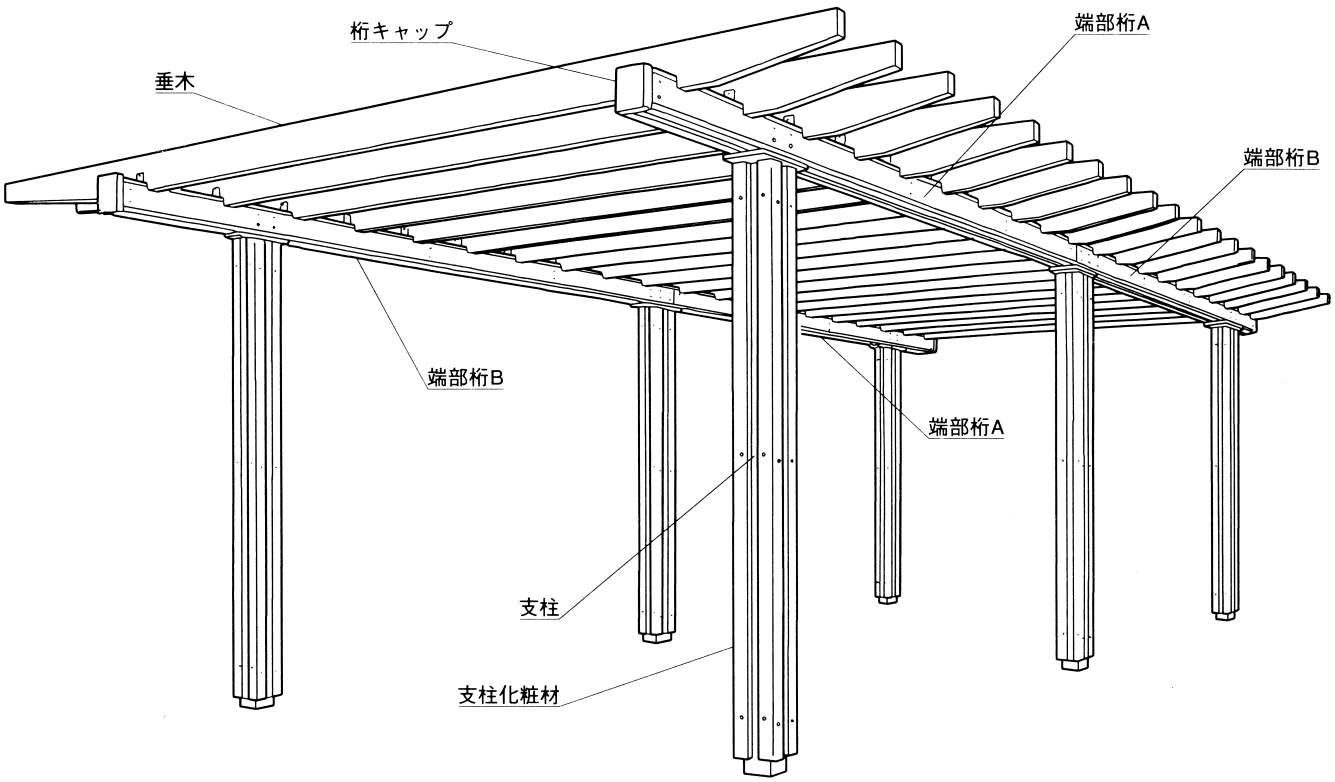
●垂木

名　　称		員数
垂木	58×180×4500L	2

※Wセムスはバネ座金、平座金付を示します。

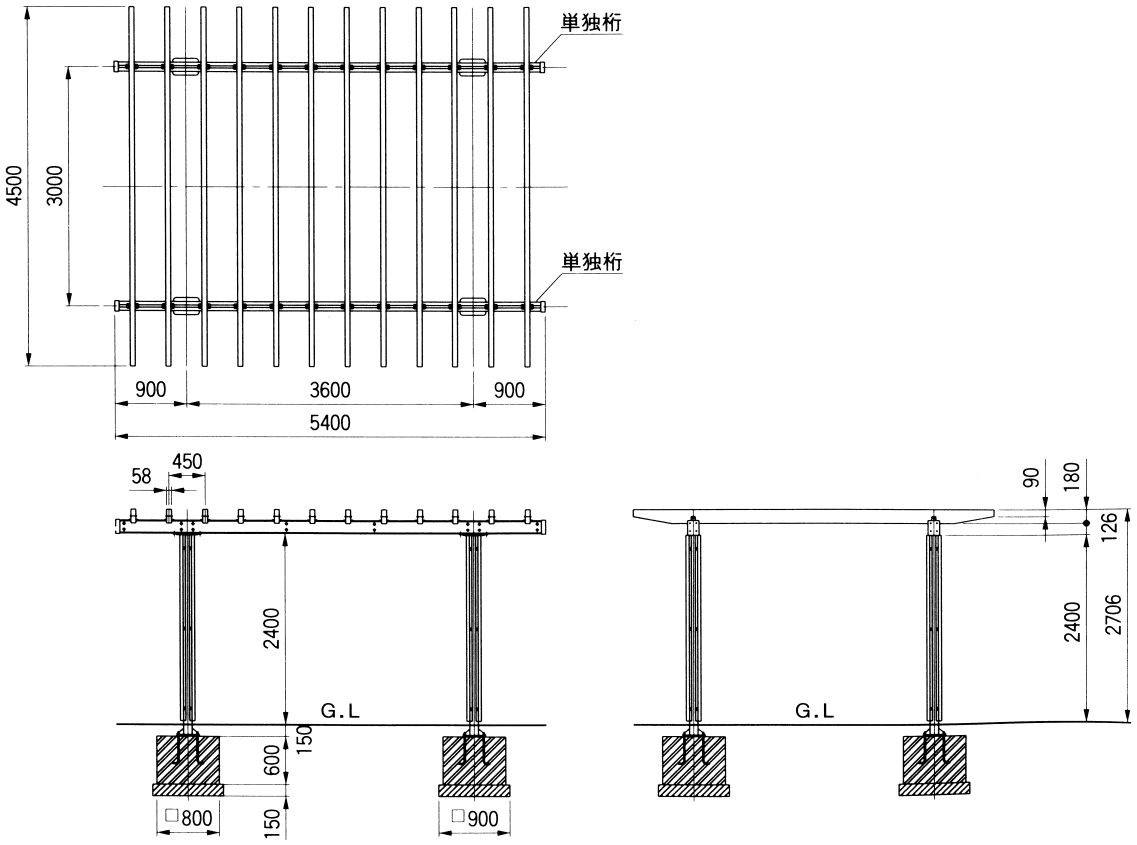
1.姿図及び各部名称

パーゴラＡタイプ（２連棟）

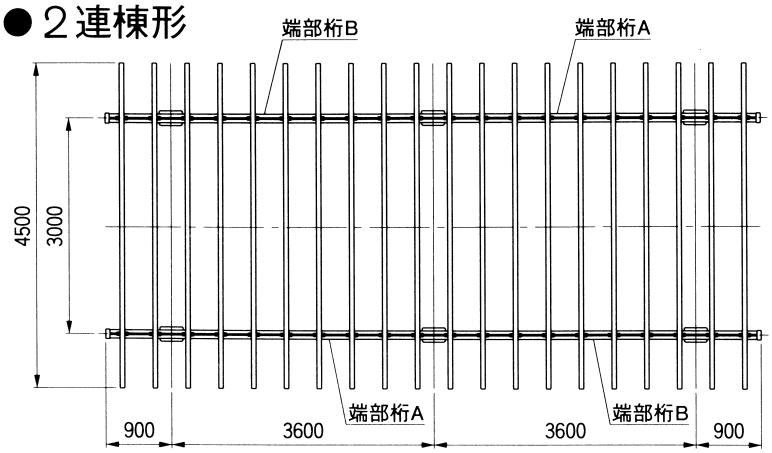


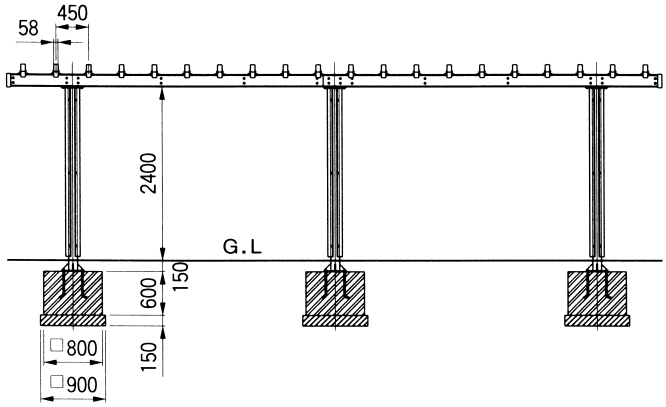
2.基本寸法図

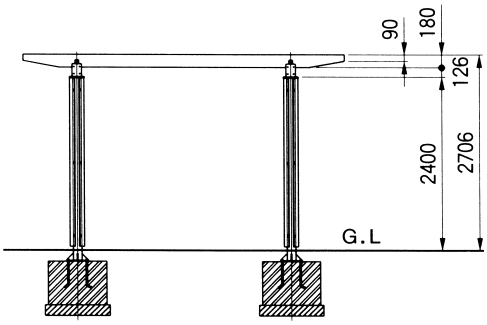
●基本形



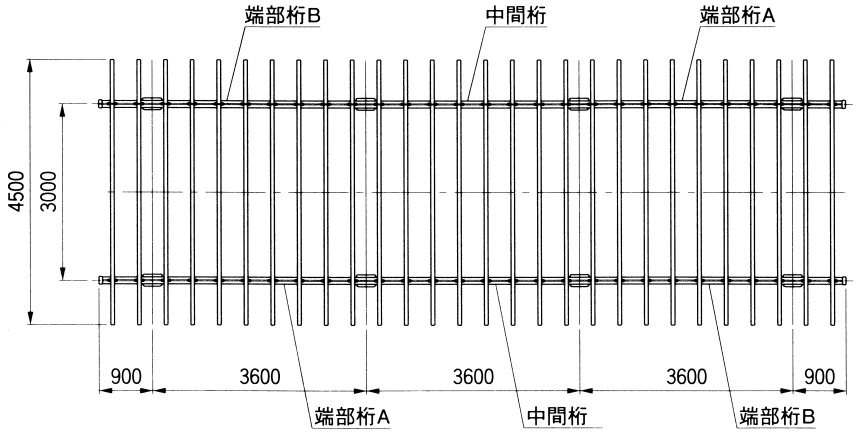
●２連棟形

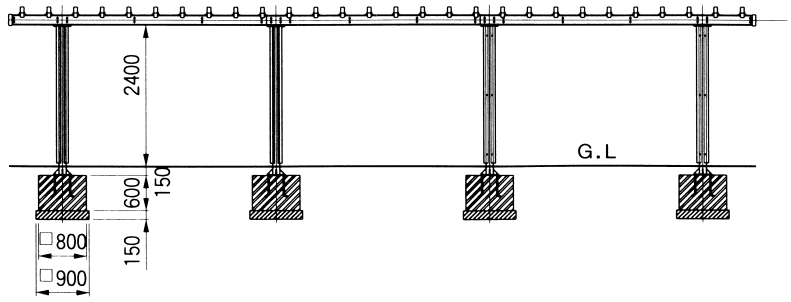

端部桁B
端部桁A
4500
3000
端部桁A
端部桁B
900
3600
3600
900

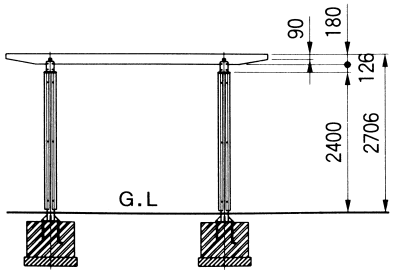

58
450
2400
G.L
600
150
150
□800
□900


90
180
126
2400
2706
G.L

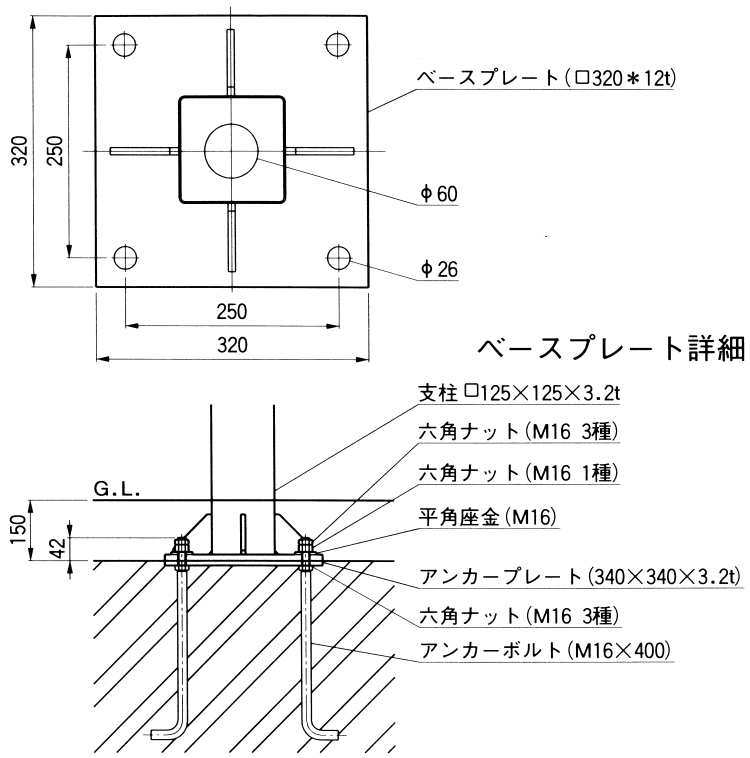
●３連棟形


端部桁B
中間桁
端部桁A
4500
3000
900
3600
3600
3600
900
端部桁A
中間桁
端部桁B


2400
G.L
600
150
150
□800
□900


90
180
126
2400
2706
G.L

3.基礎施工



●パーゴラA・Bタイプの支柱固定方法は、アンカーボルト仕様に設定しています。したがいまして、基礎施工につきましては工事店様にて現地状況に応じた基礎の施工をお願い致します。

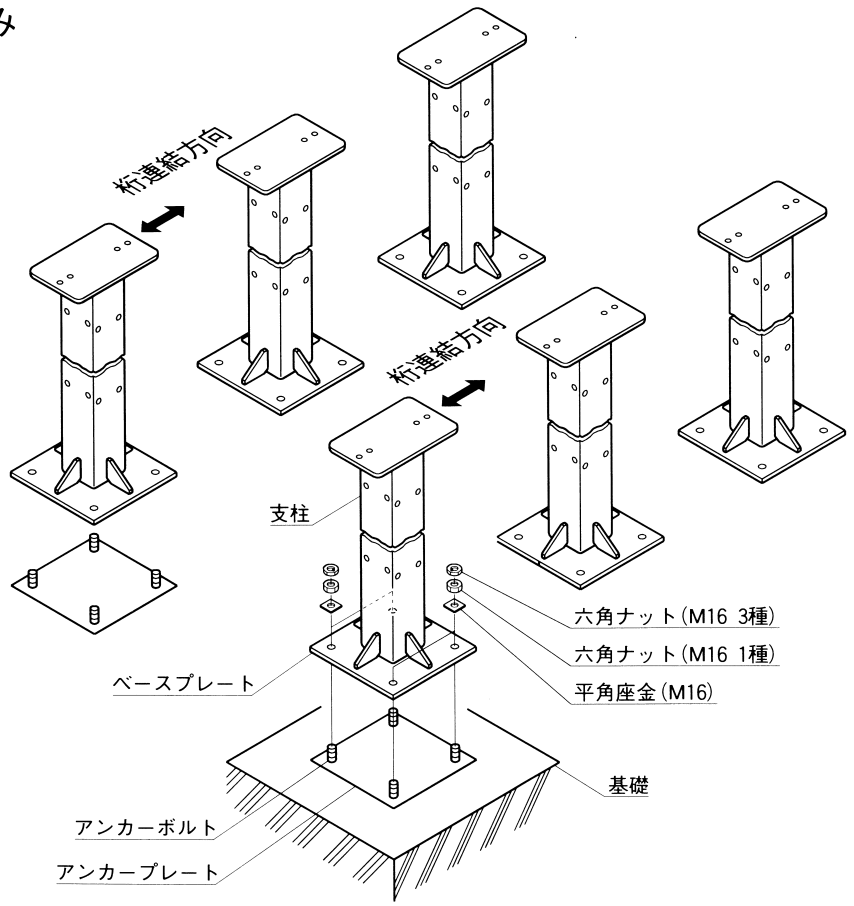
●支柱ベースプレートの詳細は左図の通りです。

●支柱ベースプレートの底面は、GLより150㎜下がった位置を標準設定としています。

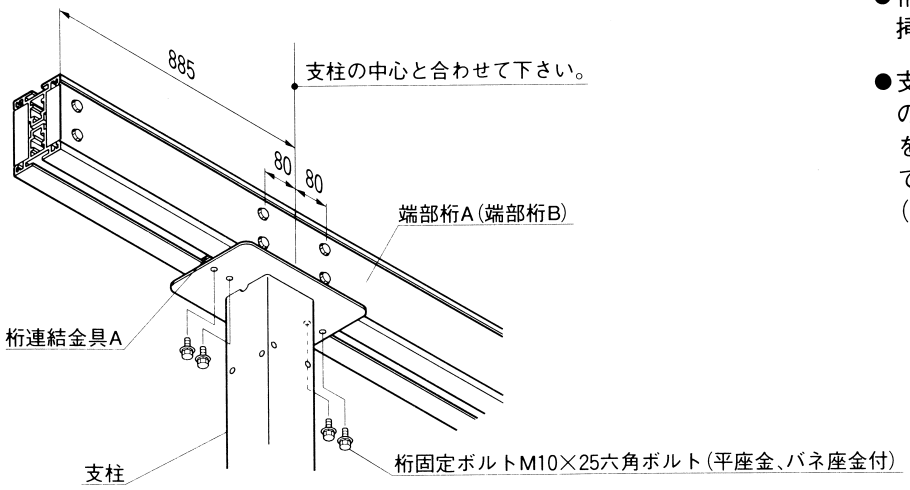
●標準基礎仕様とする場合は、アンカーセット(RST08)を取りよせていただき、この中の取付け指示によって下さい。

4.本体の組付け

■支柱の建て込み

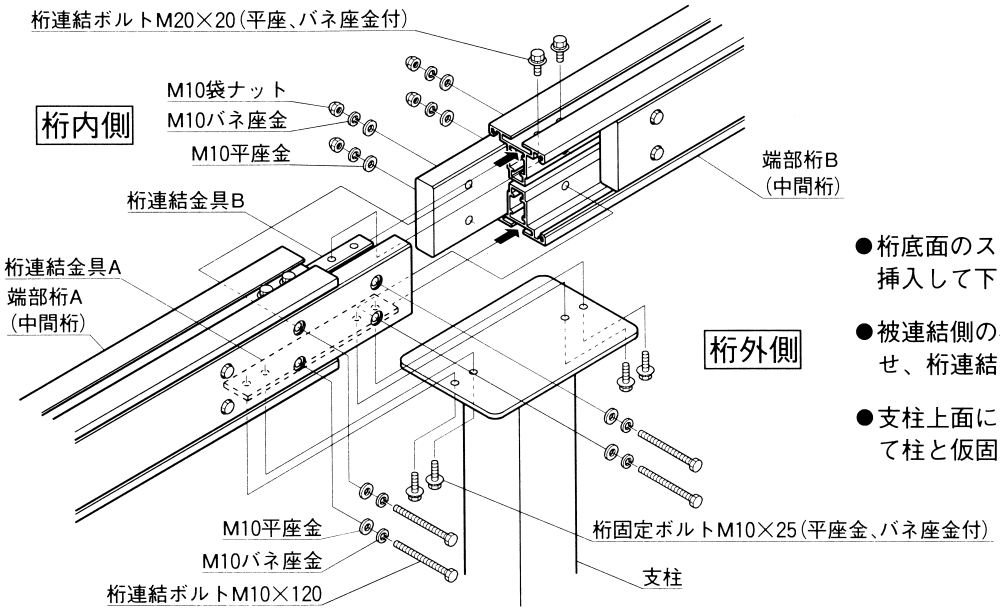


■端部桁・支柱の組付け



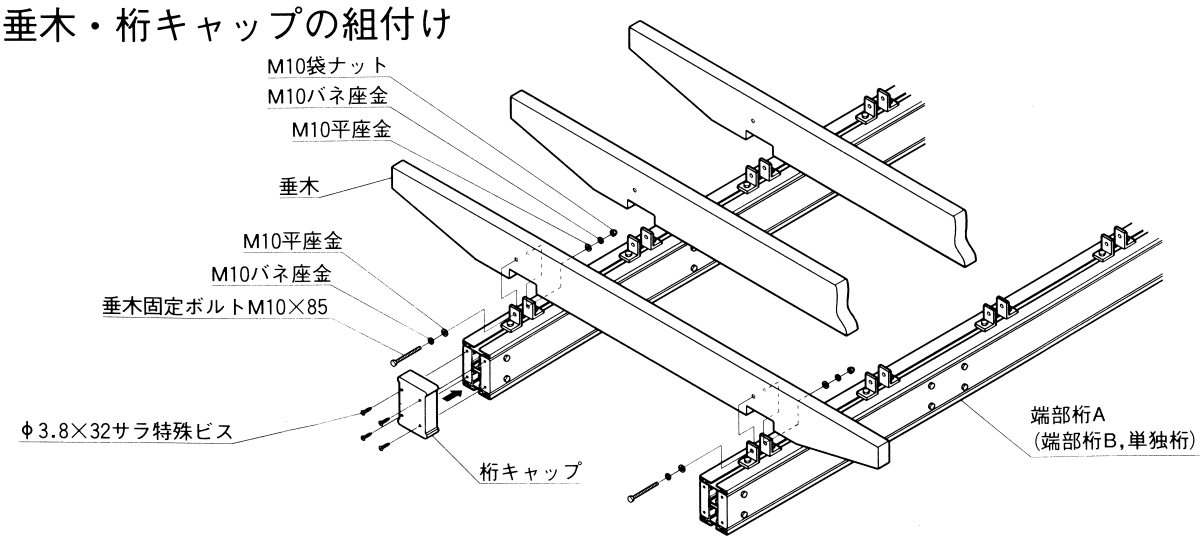
- 桁底面のスライド溝に桁連結金具Aを挿入して下さい。
- 支柱の上に桁をのせ、桁端部から885mmの位置(桁組付用ボルト4本の中間部)を支柱中心に合わせ、桁固定ボルトにて固定して下さい。
(桁の配置についてはP.6を参照して下さい。)

■桁連結及び支柱(中間部)・桁組付け



- 桁底面のスライド溝に桁連結金具Aを挿入して下さい。
- 被連結側の桁を支柱上にてスライドさせ、桁連結ボルトにて連結して下さい。
- 支柱上面に桁をのせ、桁固定ボルトにて柱と仮固定して下さい。

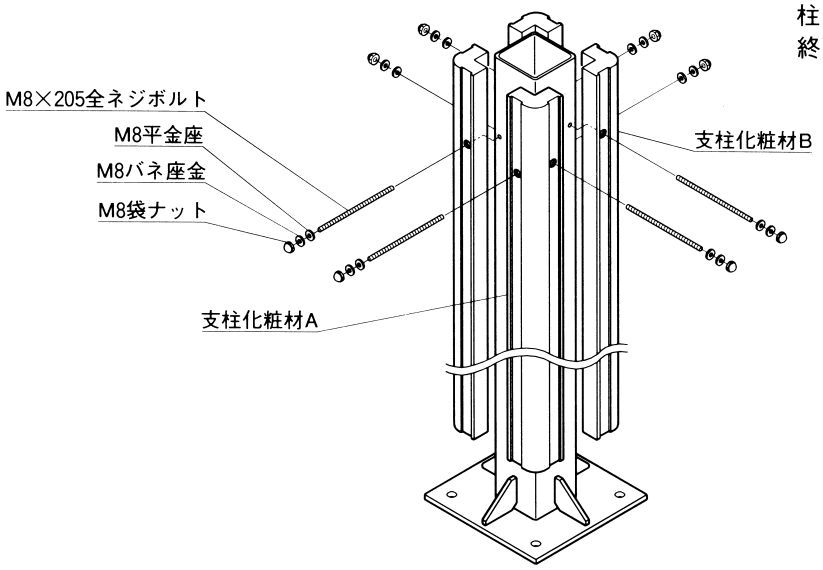
■垂木・桁キャップの組付け



4.本体の組付け(つづき)

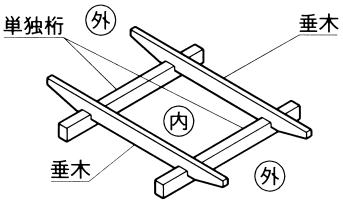
■支柱化粧材の組付け

●支柱化粧材は汚損、破損防止の為、支柱，桁，垂木等の全ての部材の組付が終了した後、最後に固定して下さい。

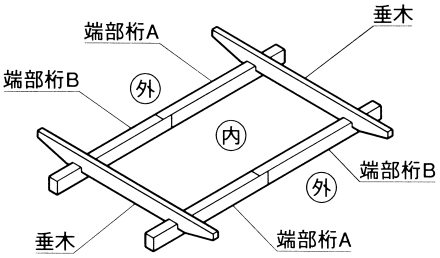


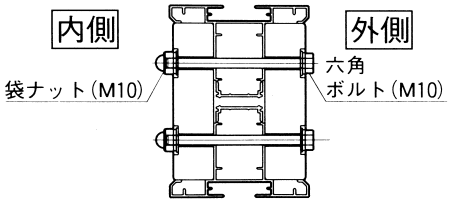
5.パーゴラA 桁配置

○基本形のケース

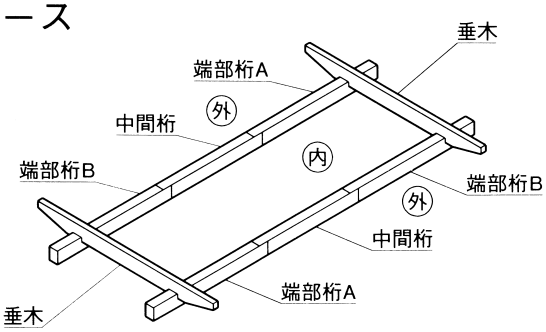


○2連棟のケース





○3連棟以上のケース



●端部桁A，B、中間桁，及び単独桁のボルトの頭側が外側になります。

●3連棟以上(N連棟)の場合は図中の中間桁を(N－2)本連棟します。

■梱包明細書　パーゴラＢタイプ

●支柱１（標準用）

名　　称		員数
支柱１ASSY		1
支柱化粧材取付ボルト	全ネジボルト M8＊205L	12
支柱化粧材取付袋ナット	M8　３形	24
支柱化粧材取付バネ座金	M8	24
支柱化粧材取付平座金	M8　みがき丸	24
取付説明書		1

●支柱２（Ｔ字接続用）

名　　称		員数
支柱２ASSY		1
支柱化粧材取付ボルト	全ネジボルト M8＊205L	12
支柱化粧材取付袋ナット	M8　３形	24
支柱化粧材取付バネ座金	M8	24
支柱化粧材取付平座金	M8　みがき丸	24

●支柱３（十字接続用）

名　　称		員数
支柱３ASSY		1
支柱化粧材取付ボルト	全ネジボルト M8＊205L	12
支柱化粧材取付袋ナット	M8　３形	24
支柱化粧材取付バネ座金	M8	24
支柱化粧材取付平座金	M8　みがき丸	24

●支柱化粧材

名　　称		員数
支柱化粧材A		2
支柱化粧材B		2

●桁１

名　　称		員数
桁１ASSY		1
桁固定用袋ナット	M10　３形	8
桁固定用バネ座金	M10	8
桁固定用平座金	M10　みがき丸	8

●桁２

名　　称		員数
桁２ASSY		1
桁固定用ボルト	六角ボルト M10＊30L Wセムス	4
桁固定用ボルト	六角ボルト M10＊30L	2
桁固定用袋ナット	M10　３形	4
桁固定用バネ座金	M10	4
桁固定用平座金	M10　みがき丸	4
格子垂木取付用ボルト	六角ボルト M10＊85L	8
格子垂木取付用袋ナット	M10　３形	8
格子垂木取付用バネ座金	M10	16
格子垂木取付用平座金	M10　みがき丸	16
垂木固定金具A		8
垂木固定金具D		8
垂木固定金具取付ボルト		8

●桁３

名　　称		員数
桁３ASSY		1
桁固定用ボルト	六角ボルト M10＊30L Wセムス	4
桁固定用ボルト	六角ボルト M10＊30L	4
桁固定用袋ナット	M10　３形	4
桁固定用バネ座金	M10	4
桁固定用平座金	M10　みがき丸	4
格子垂木取付用ボルト	六角ボルト M10＊85L	16
格子垂木取付用袋ナット	M10　３形	16
格子垂木取付用バネ座金	M10	32
格子垂木取付用平座金	M10　みがき丸	32
垂木固定金具A		16
垂木固定金具D		16
垂木固定金具取付ボルト		16

●隅木

名　　称		員数
隅木ASSY		1

●方形垂木１セット

名　　称		員数
方形垂木１	58＊136＊3372L	2

●方形垂木２セット

名　　称		員数
方形垂木２	58＊136＊2802L	2
方形垂木６	58＊136＊522L	2

●方形垂木３セット

名　　称		員数
方形垂木３	58＊136＊2232L	2
方形垂木５	58＊136＊1092L	2

●方形垂木４セット

名　　称		員数
方形垂木４	58＊136＊1662L	4

●格子垂木セット

名　　称		員数
格子垂木１	58＊180＊3943L	1
格子垂木２	58＊180＊3943L	1

■梱包明細書　パーゴラＢタイプ

●かぶら束

名　　称		員数
かぶら束		1
かぶら束キャップ		1
かぶら束ー隅木固定ボルト	六角ボルト M10＊90L	8
かぶら束ー隅木固定袋ナット	M10 3形	8
かぶら束ー隅木固定バネ座金	M10	16
かぶら束ー隅木固定平座金	M10 みがき丸	16
かぶら束キャップ固定ボルト	六角ボルト M8＊25L Wセムス	2
隅木受けー隅木固定ボルト	六角ボルト M10＊90L	8
隅木受けー隅木固定袋ナット	M10 3形	8
隅木受けー隅木固定バネ座金	M10	16
隅木受けー隅木固定平座金	M10 みがき丸	16
方形垂木取付用ボルト	六角ボルト M8＊65L	96
方形垂木取付用袋ナット	M8 3形	96
方形垂木取付用バネ座金	M8	96
方形垂水木取付用平座金	M8 みがき丸	192

●隅木受け

名　　称		員数
隅木受け金具		1
隅木受け金具取付ボルト	六角ボルト M10＊40L Wセムス	4

●桁受け金具１

名　　称		員数
桁受け金具A		1
桁受け金具B１		1
桁受け金具取付ボルト	六角ボルト M10＊40L Wセムス	4

●桁受け金具２

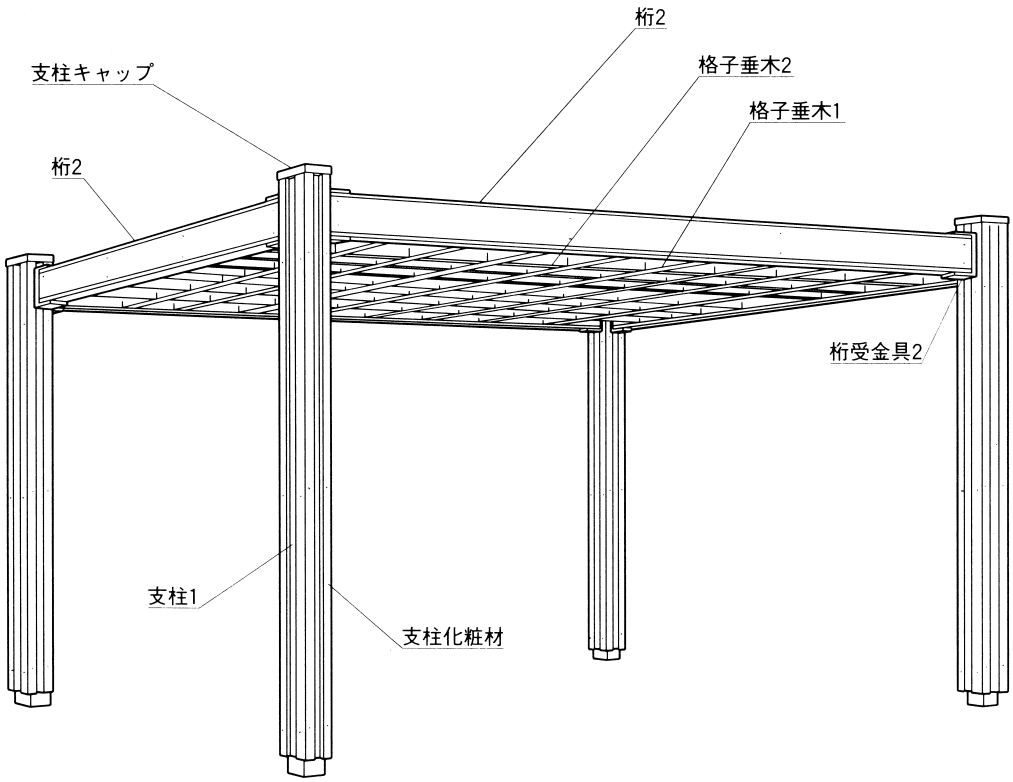
名　　称		員数
桁受け金具A		1
桁受け金具B２		1
桁受け金具取付ボルト	六角ボルト M10＊40L Wセムス	4

●支柱キャップセット

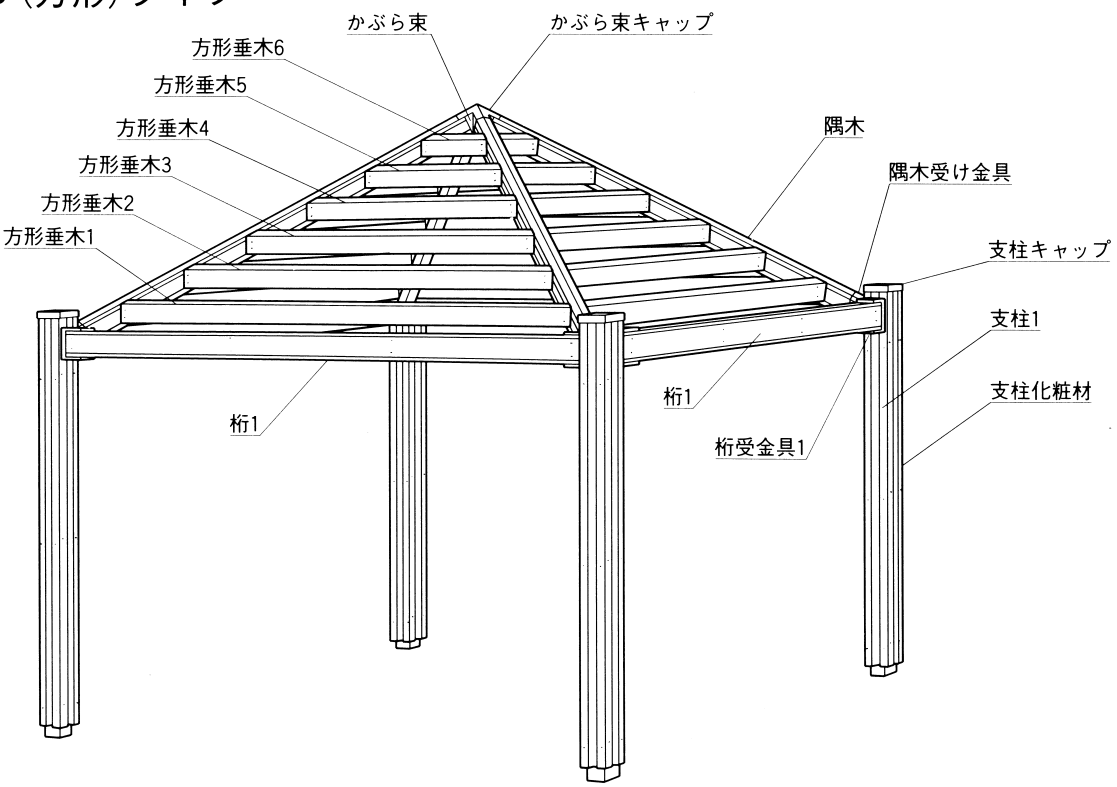
名　　称		員数
支柱キャップ		1
支柱キャップ固定ビス	φ3.8＊32 ALCビス,平ワッシャー,パッキン付	4

1.姿図及び各部名称

パーゴラＢ（格子）タイプ

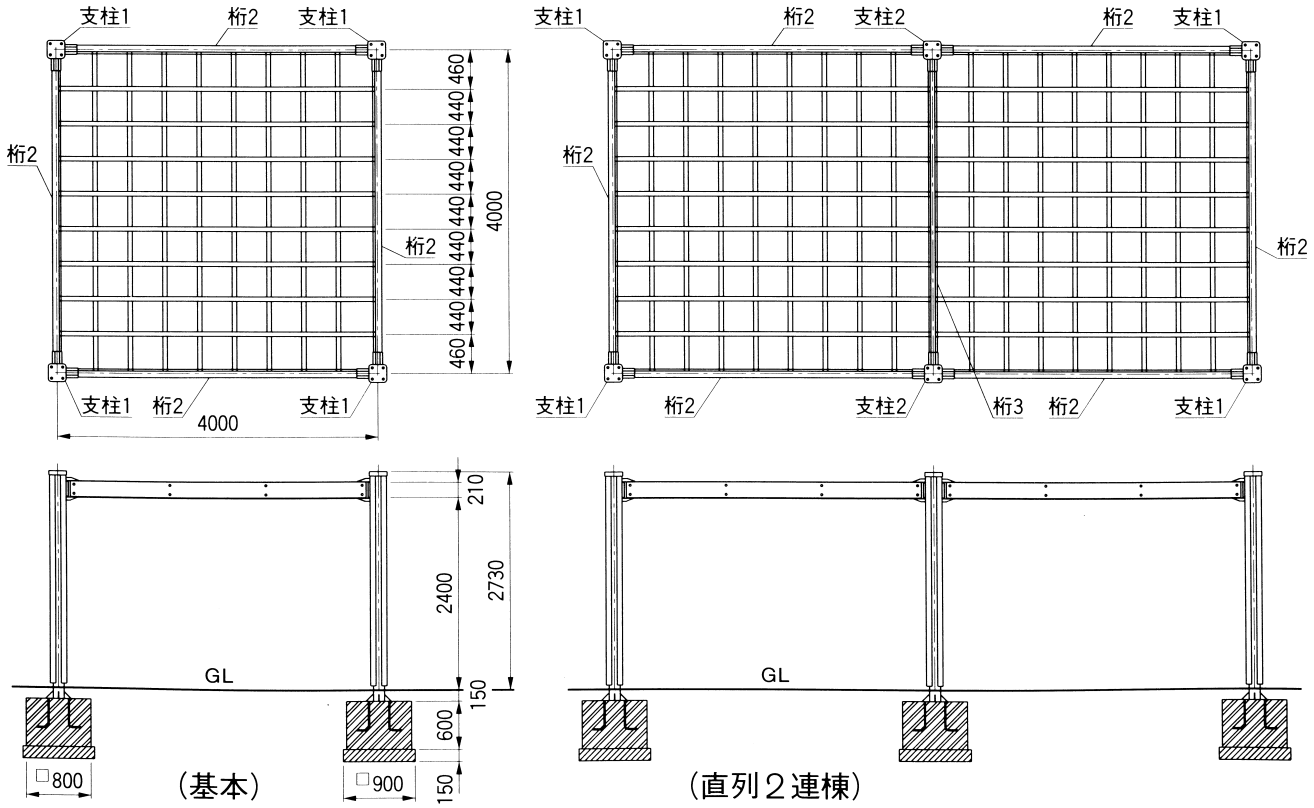


パーゴラB（方形）タイプ



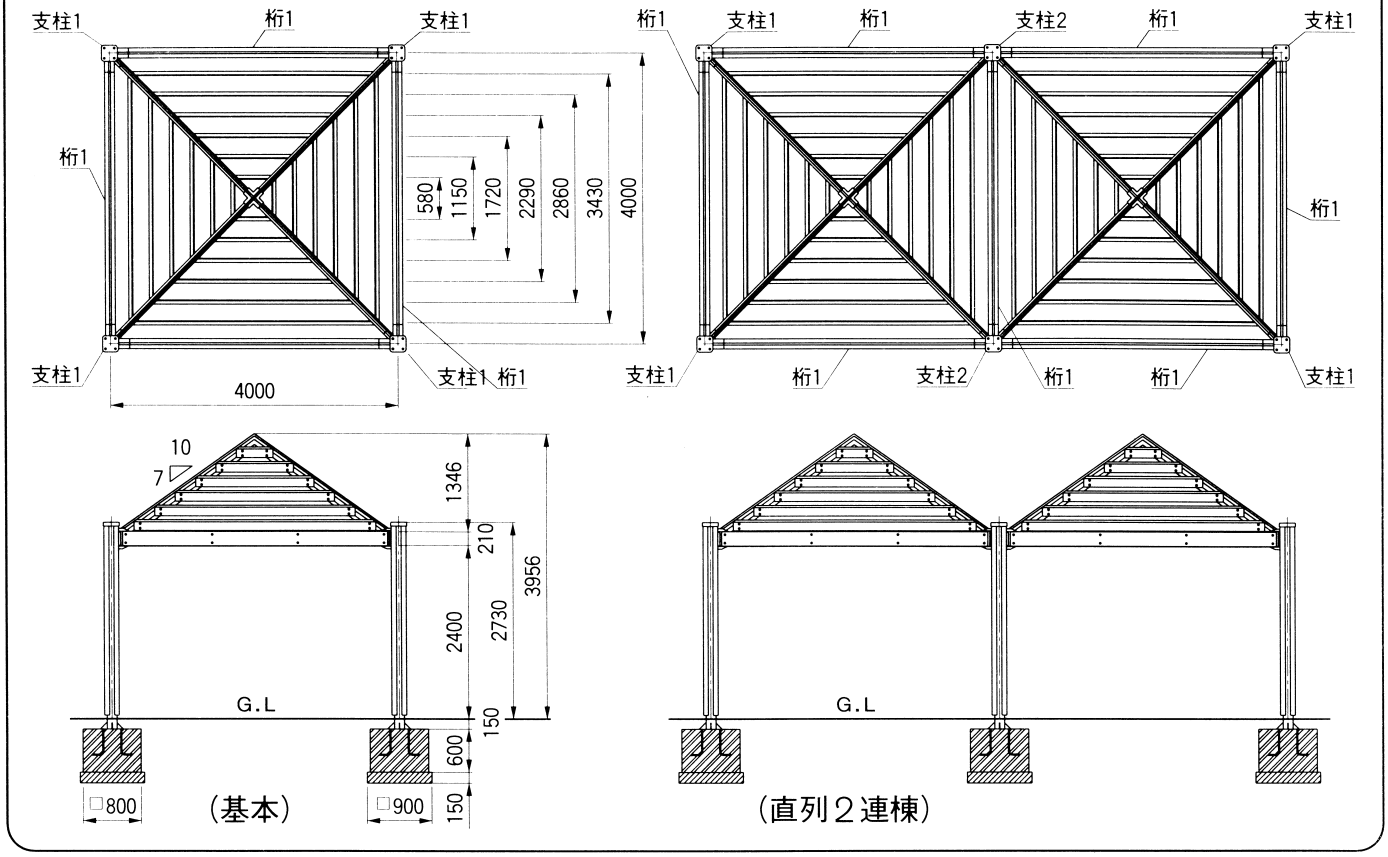
2.基本寸法図

●パーゴラB（格子）タイプ

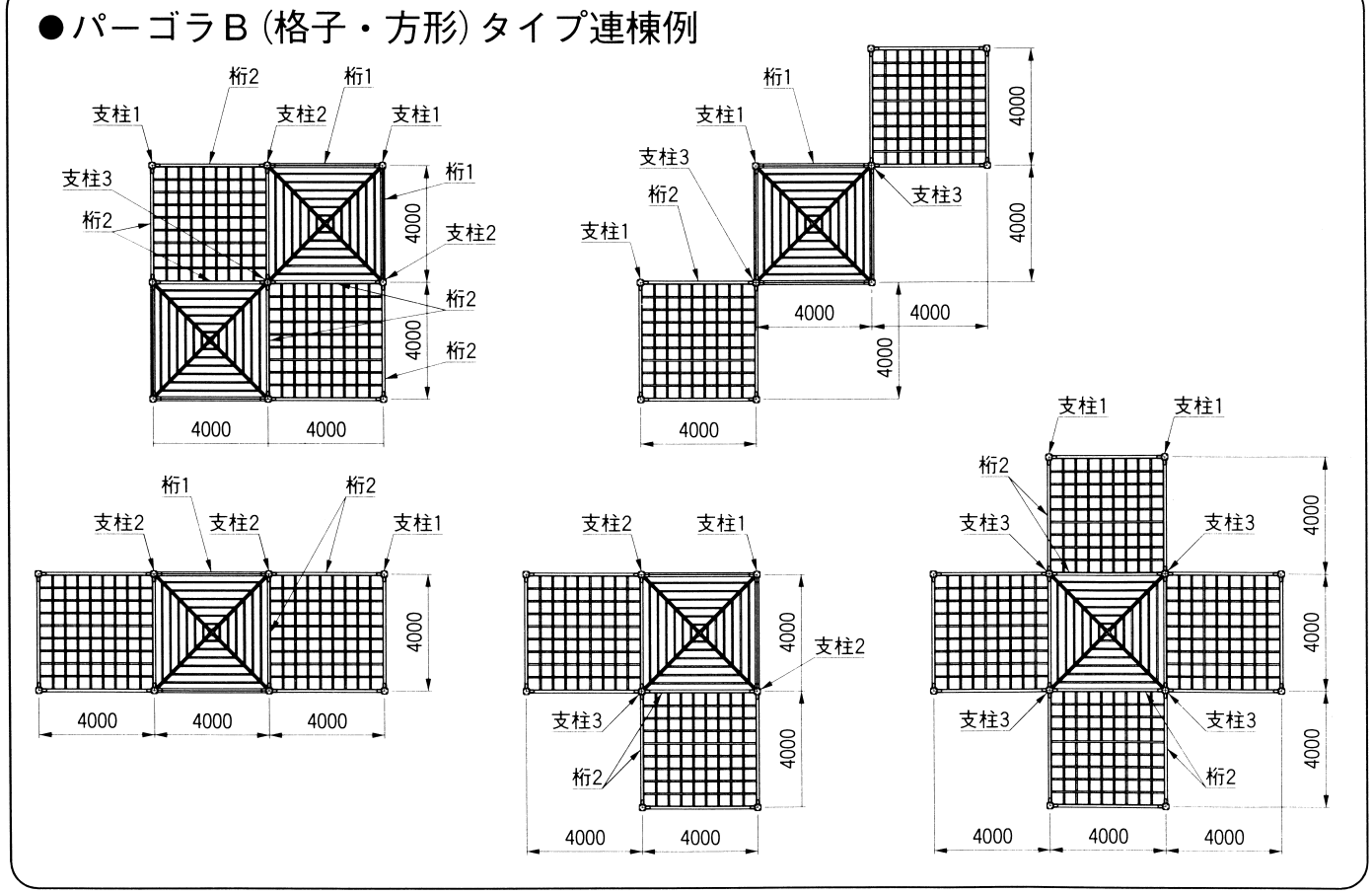


2.基本寸法図(つづき)

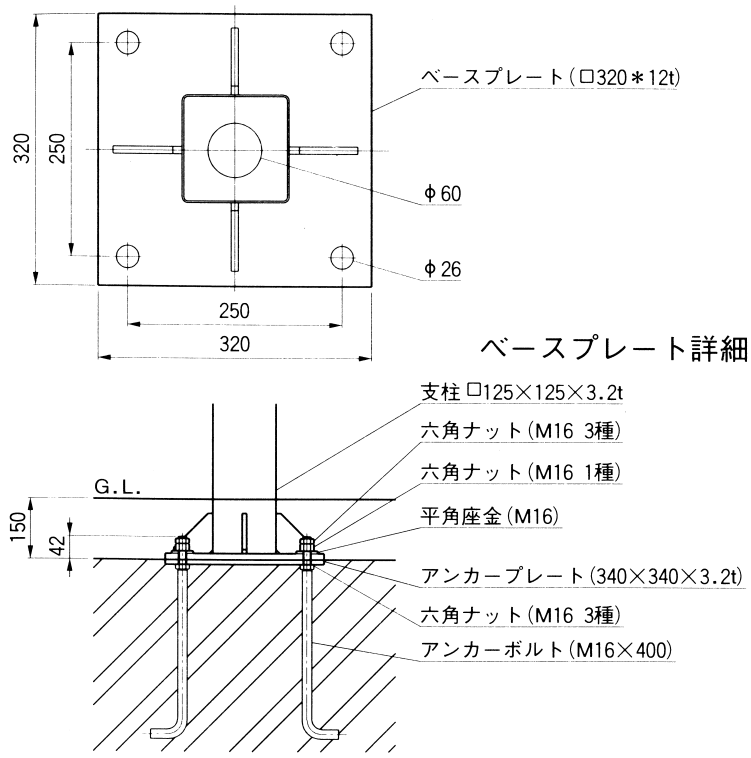
●パーゴラB(方形)タイプ



●パーゴラB(格子・方形)タイプ連棟例



3.基礎施工



●パーゴラA・Bタイプの支柱固定方法は、アンカーボルト仕様に設定しています。したがいまして、基礎施工につきましては工事店様にて現地状況に応じた基礎の施工をお願い致します。

●支柱ベースプレートの詳細は左図の通りです。

●支柱ベースプレートの底面は、GLより150㎜下がった位置を標準設定としています。

●標準基礎仕様とする場合は、アンカーセット(RST08)を取りよせていただき、この中の取付け指示によって下さい。

4.本体の組付け

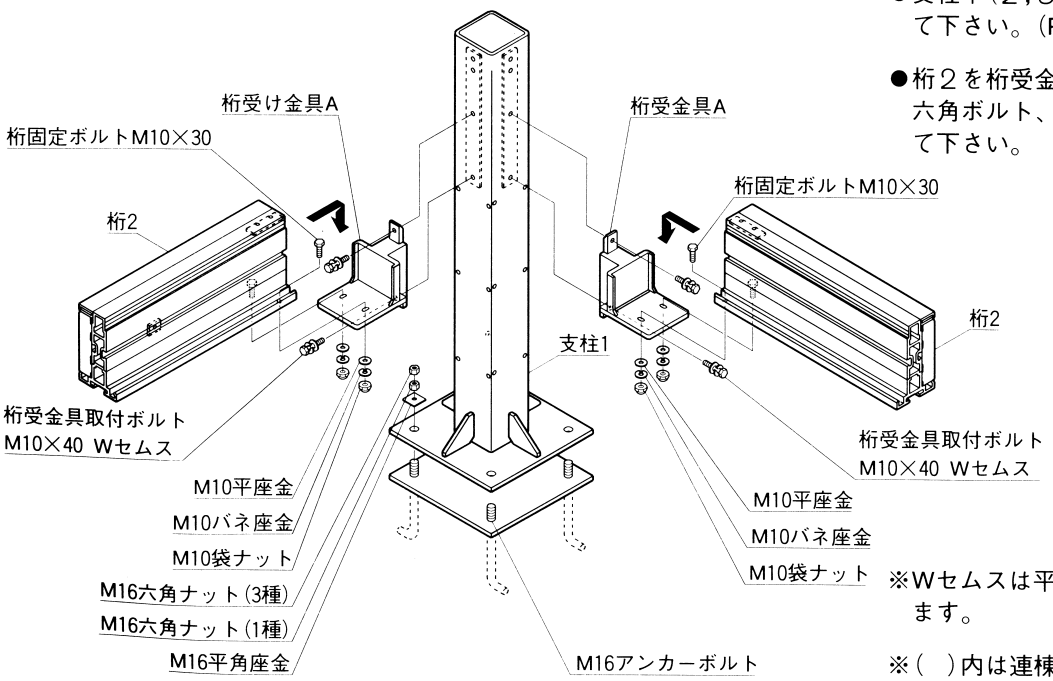
4-1〔パーゴラB(格子)タイプ基本形〕

■支柱1(2,3)の建て込みおよび桁受金具A・桁2の取付け

●支柱1(2,3)を所定の基礎部へ固定して下さい。(P9,10参照)

●支柱1(2,3)に桁受金具Aを取付けて下さい。(P9,10参照)

●桁2を桁受金具Aの上方より挿入し、六角ボルト、袋ナット等により固定して下さい。



※Wセムスは平座金、バネ座金付を示します。

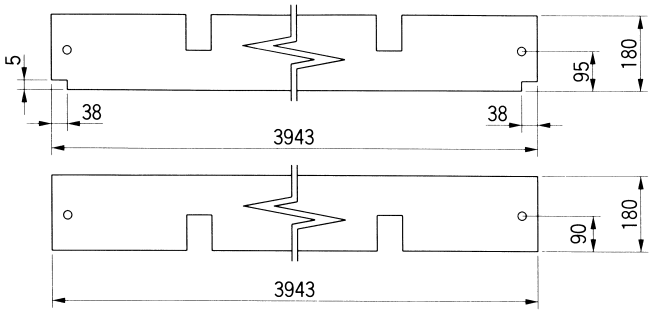
※(　)内は連棟の場合を示します。

4.本体の組付け(つづき)

■桁受金具Ｂ２，格子垂木１，２の取付け

格子垂木１

格子垂木２



●桁受金具Ｂ２を上部よりスライド挿入し、金具を支柱および桁と固定して下さい。下図の取付詳細を参照して下さい。

●格子垂木１および格子垂木２を切欠き部を合わせて桁２上に設置して下さい。

●垂木固定金具Ａ，Ｃ，Ｄを利用して垂木１，２を固定して下さい。

※Ｗセムスは平座金、バネ座金付を示します。

桁固定ボルト
M10×30 Wセムス

桁固定ボルト
M10×30 Wセムス

桁受金具取付ボルト
M10×40 Wセムス

桁受金具取付ボルト
M10×40 Wセムス

桁受金具B2

桁受金具B2

桁2

桁2

垂木固定金具C

桁受金具A

桁受金具A

※2

※1

M10袋平座金

垂木取付ボルトM10×85

M10バネ座金

M10×20 Wセムス

M10袋ナット

垂木固定金具D

垂木固定金具A

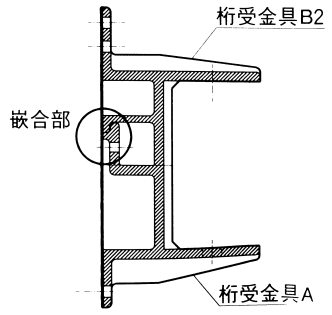
※2

※1

格子垂木2

格子垂木1

桁受金具Ａ，Ｂ2取付詳細

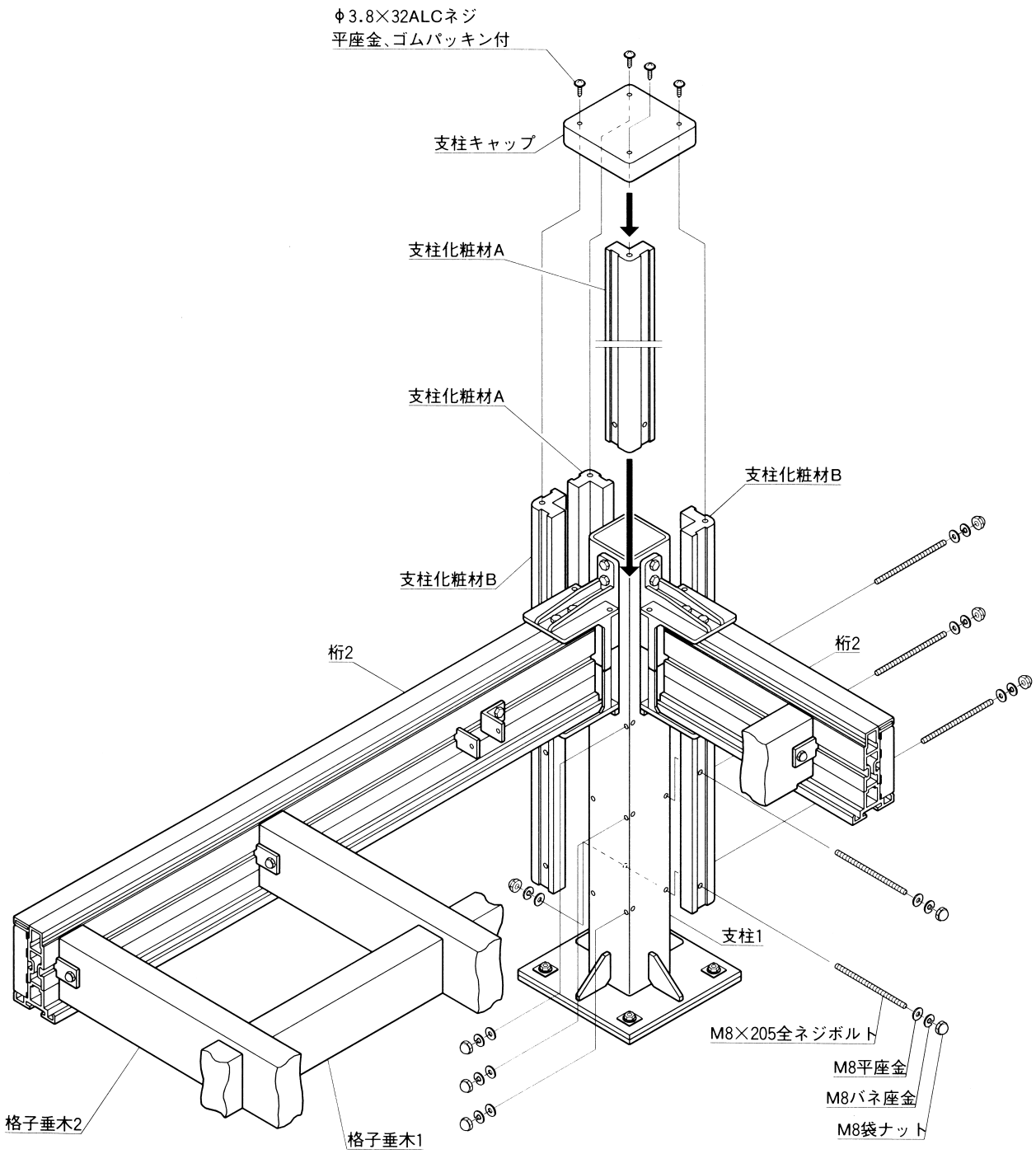


●桁受金具A，B2は上図の様な嵌合組付となります。取付時には注意して下さい。

■支柱化粧材、支柱キャップの取付け

●支柱化粧材は汚損、損傷防止の為、桁、垂木等全ての部材の組付が終了した後、最後に取付けて下さい。

●桁受金具にはさまれる部分の支柱化粧材は支柱上方より挿入して下さい。



4.本体の組付け(つづき)

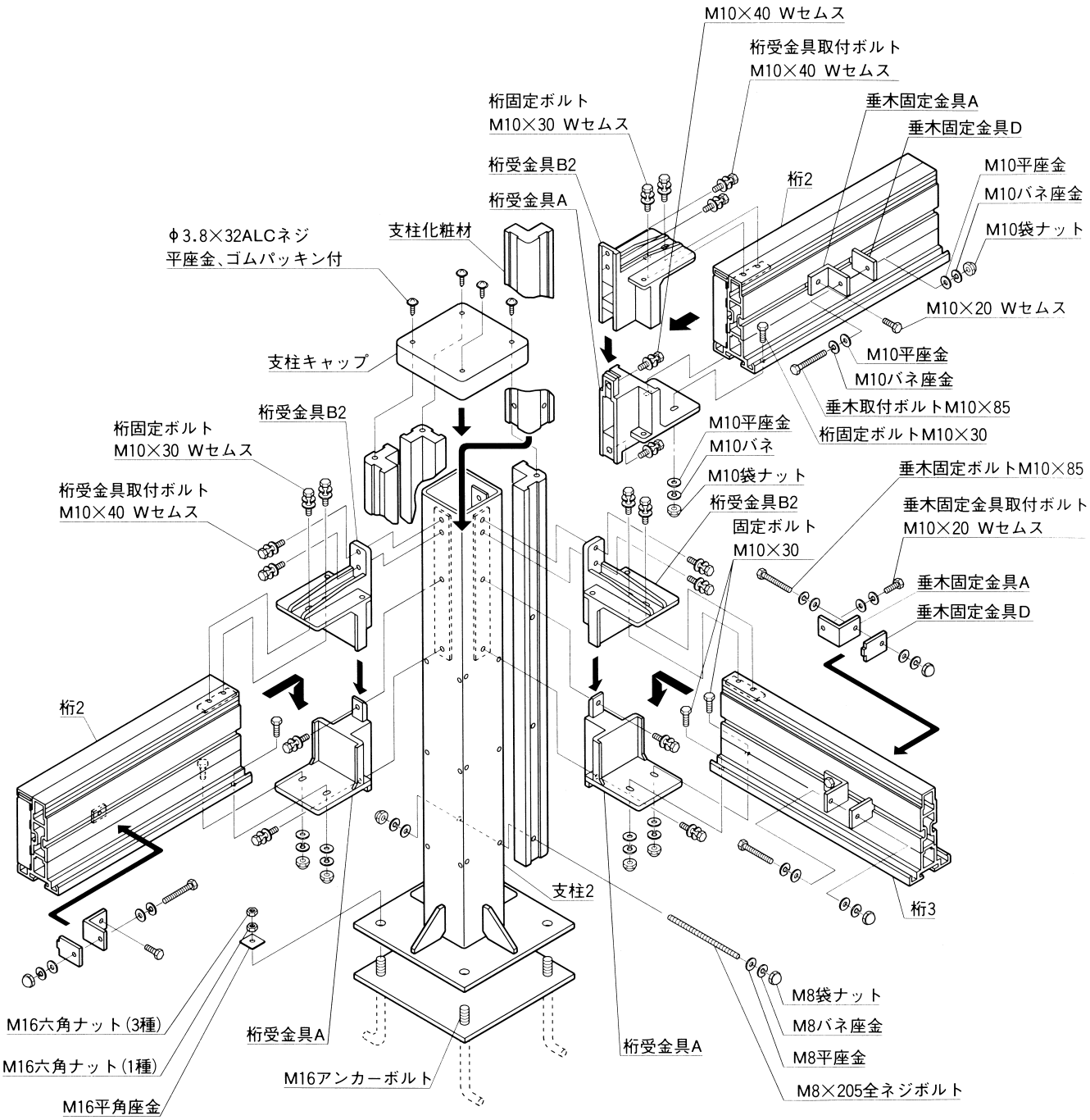
4-2〔パーゴラB(格子)タイプ連棟形〕

●支柱1,2、桁、桁受金具、垂木、支柱化粧材、支柱キャップの組付手順は基本形の手順に準じます。

●支柱化粧材は汚損、損傷防止のため桁、垂木等全ての部材の組付が終了した後、最後に取付けて下さい。

●桁受金具にはさまれる部分の支柱化粧材は支柱上部より挿入して下さい。

※Wセムスは平座金、バネ座金付を示します。



4-3〔パーゴラB(方形)タイプ基本形〕

■支柱1の建て込みおよび桁受金具A、桁1、隅木受金具の取付け

●支柱1(2,3)を所定の基礎部へ固定して下さい。

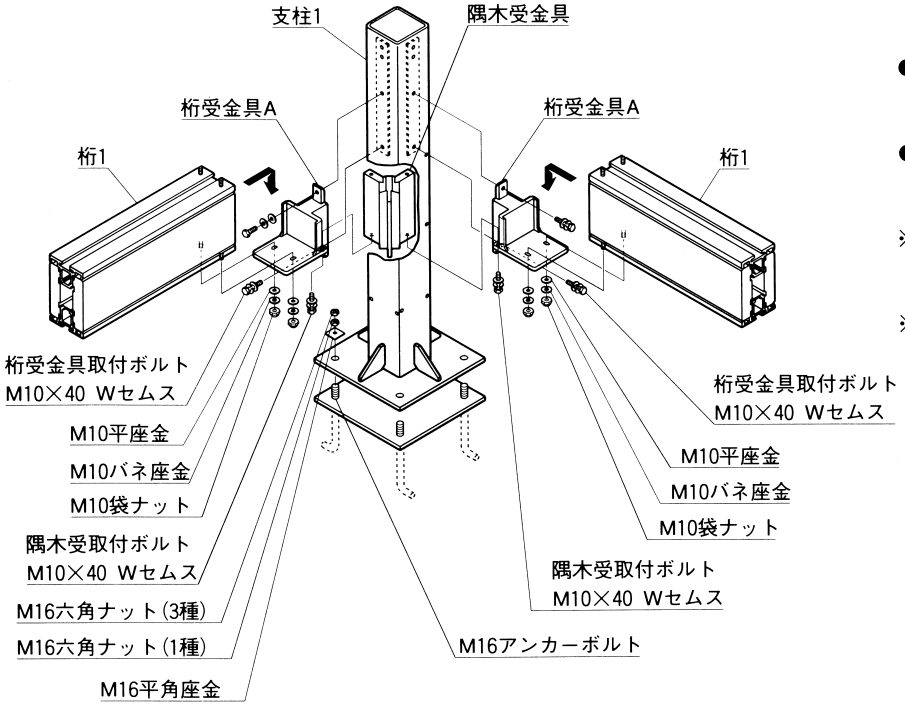
●支柱1(2,3)に桁受金具Aを取付けて下さい。

●隅木受金具を桁受金具Aに固定して下さい。

●桁1を桁受金具Aの上方より挿入し、袋ナット等により固定して下さい。

※Wセムスは平座金、バネ座金付を示します。

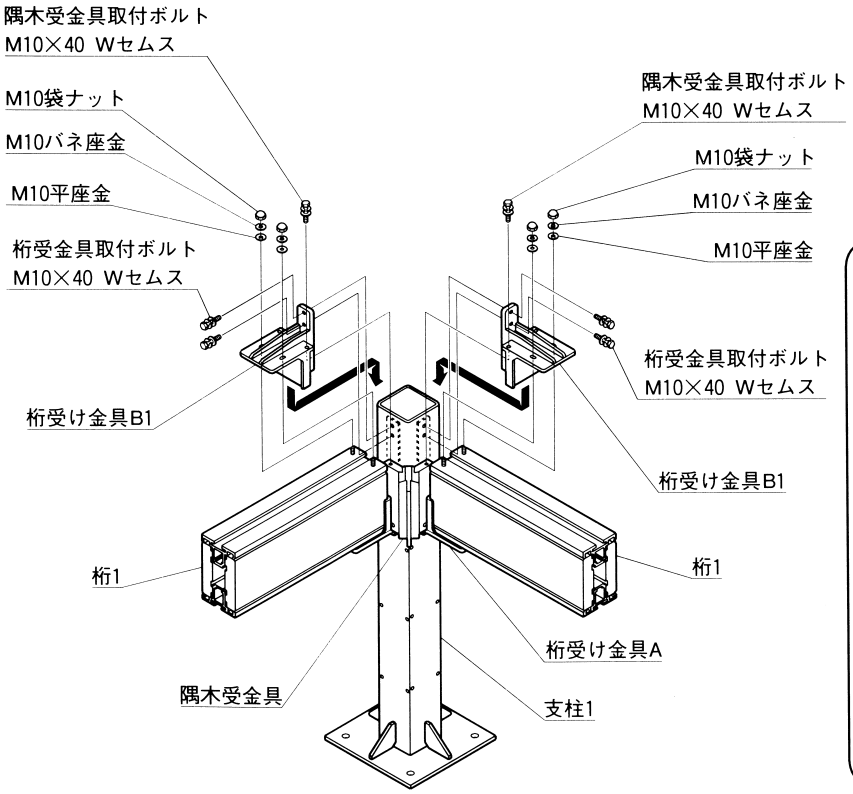
※( )内は連棟の場合を示します。



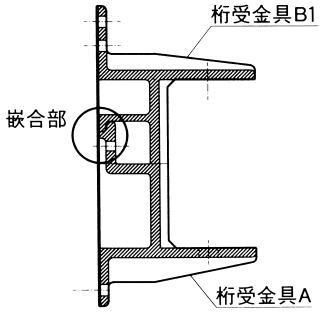
■桁受金具B1の取付け

●桁受金具B1を上部よりスライド挿入し支柱1(2,3)および桁1(2,3)隅木受け金具に固定して下さい。
下図の取付詳細を参照して下さい。

●隅木受金具を桁受金具B1に固定して下さい。



桁受金具A, B1取付詳細

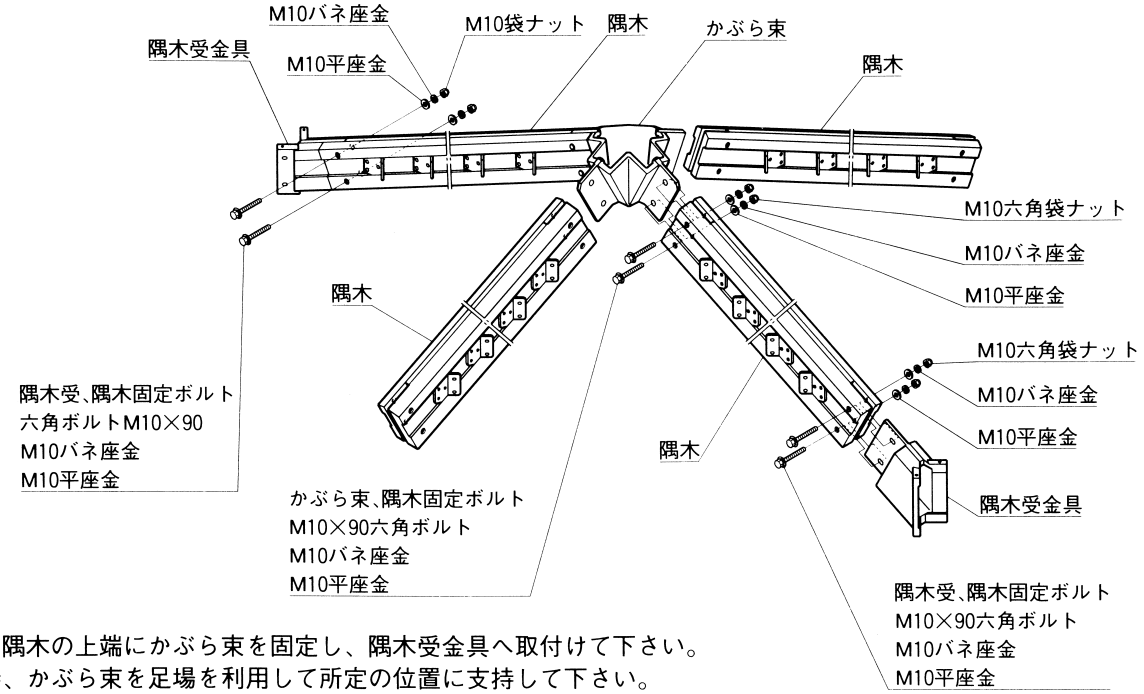


●桁受金具A,B1は上図の様な嵌合組付となります。取付時には注意して下さい。

4.本体の組付け(つづき)

■隅木の取付け(方形タイプ)

●隅木の取付施工の前にかぶら束の支持および隅木、方形垂木取付のための足場を組んで下さい。

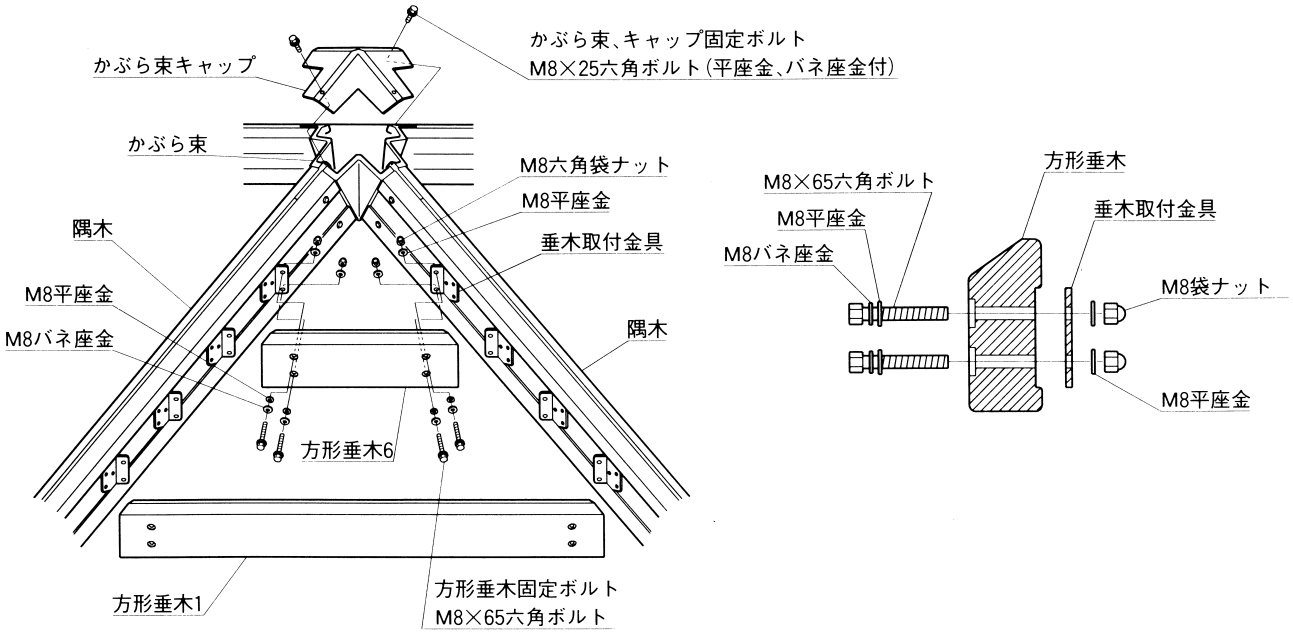


●最初に隅木の上端にかぶら束を固定し、隅木受金具へ取付けて下さい。
この時、かぶら束を足場を利用して所定の位置に支持して下さい。

●次に対面の隅木をかぶら束および隅木受金具へ取付けて下さい。

●残り２本の隅木を順次かぶら束および隅木受金具へ取付けて下さい。

■方形垂木・かぶら束キャップの取付け(方形タイプ)



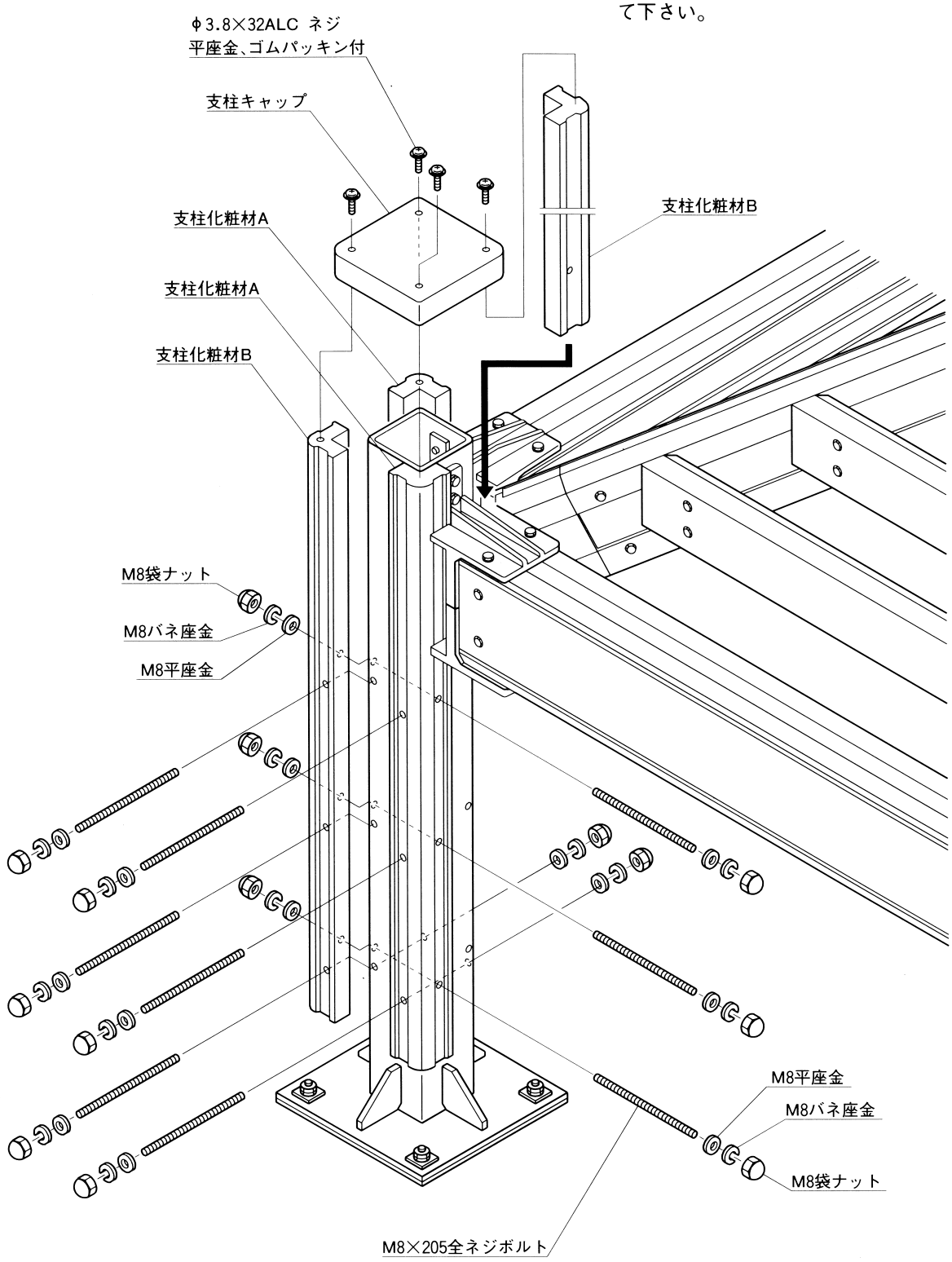
●方形垂木１～６を隅木に予めASSYされている垂木取付金具に取付けて下さい。それぞれの垂木は、垂木裏面の溝に垂木取付金具をひっかけた状態でボルトにて固定します。

●かぶら束キャップを取付けて下さい。

■支柱化粧材、支柱キャップの取付け

●支柱化粧材は汚損、損傷防止の為、桁、隅木、垂木等全ての部材の組付けが終了した後、最後に取付けて下さい。

●桁受金具、隅木受金具にはさまれる部分の支柱化粧材は支柱上方より挿入して下さい。



4.本体の組付け(つづき)

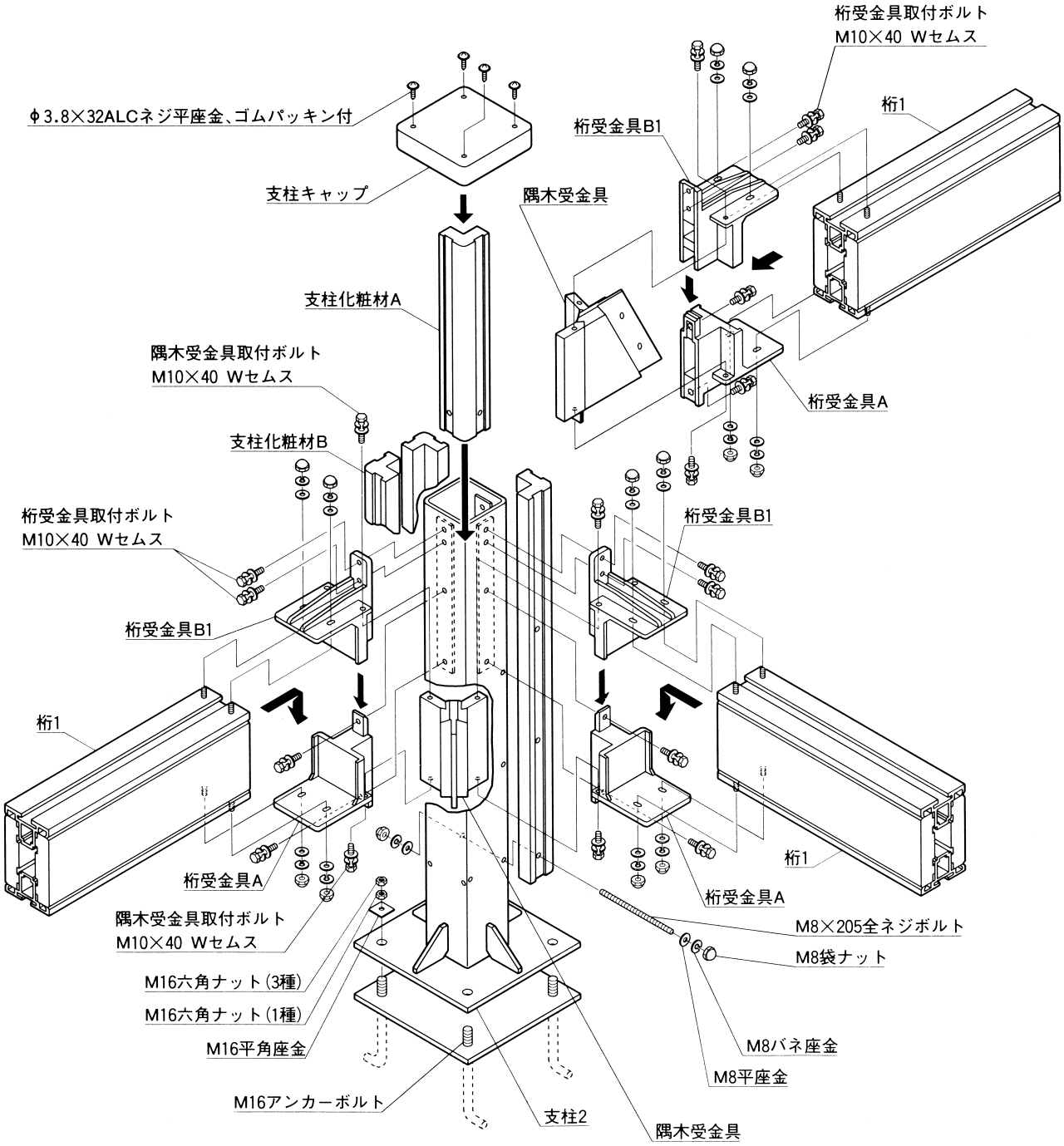
4-4〔パーゴラB(方形)タイプ連棟形〕

●支柱1、2、3、桁1、桁受金具A、B1、隅木、隅木受金具、垂木、支柱化粧材、支柱キャップ等の組付手順は方形タイプの基本形に準じます。

●支柱化粧材は汚損、損傷防止のため桁、垂木等全ての部材の組付が終了した後、最後に取付けて下さい。

●桁受金具にはさまれる部分の支柱化粧材は支柱上部より挿入して下さい。

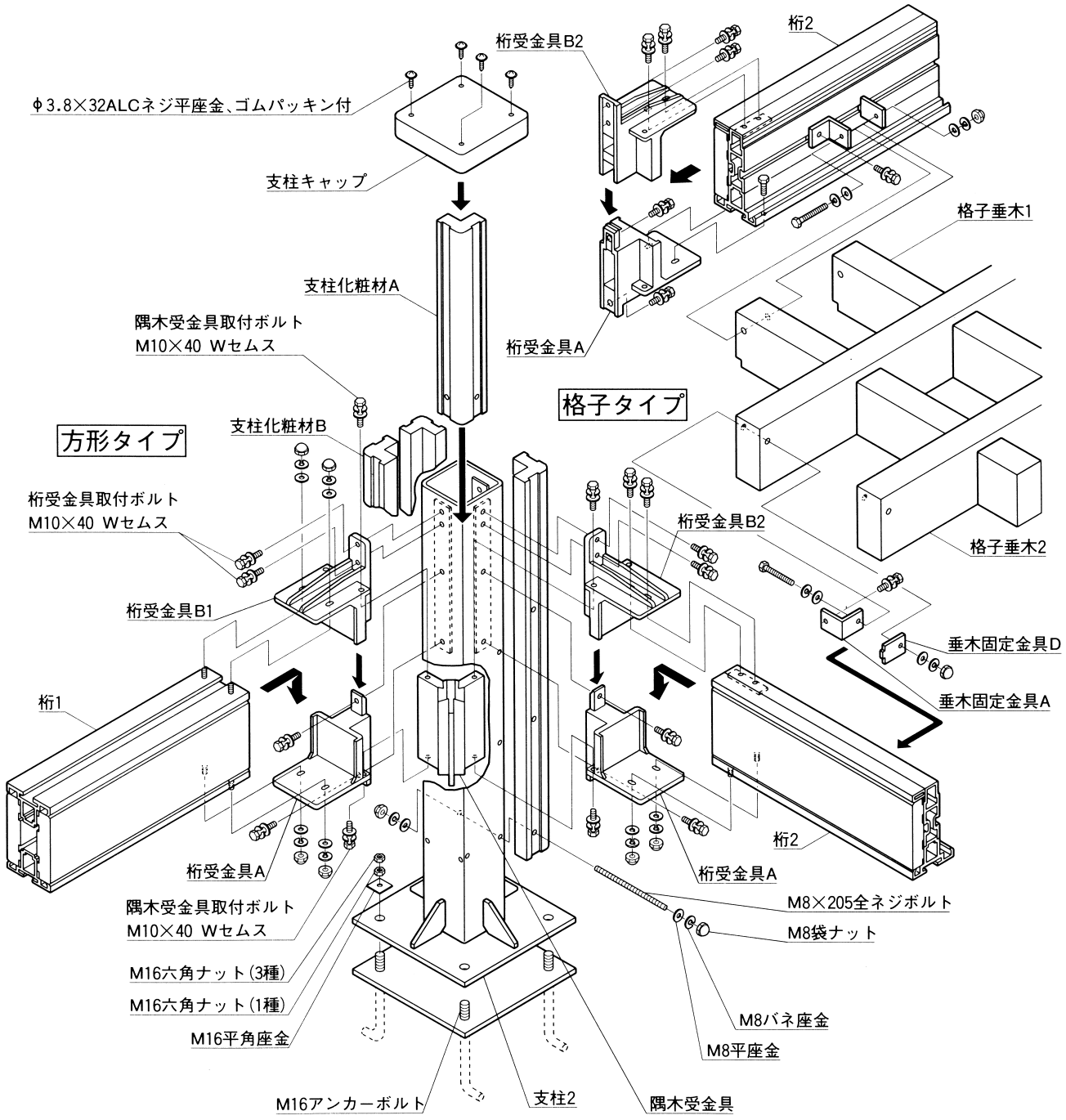
※Wセムスは平座金、バネ座金付を示します。



4-5〔パーゴラB（方形・格子）タイプ連棟形〕

- 支柱１、２、３、桁１、２、桁受金具Ａ、Ｂ１、Ｂ２、隅木、隅木受金具、垂木、支柱化粧材、支柱キャップ等の組付手順は格子タイプ、方形タイプそれぞれの基本形に準じます。
- 支柱化粧材は汚損、損傷防止のため桁、垂木等全ての部材の組付が終了した後、最後に取付けて下さい。
- 桁受金具にはさまれる部分の支柱化粧材は支柱上部より挿入して下さい。

※Wセムスは平座金、バネ座金付を示します。



自然が未来

TOEX

東洋エクステリア

工事店様へ

●みだりに改造、変更はしないで下さい。

●施工終了後、取付説明書は施主様にお渡し下さい。

●御使用いただきましてありがとうございました。

施主様へ

●アルミ及び鉄骨部の汚れの軽い場合は水にぬらした柔らかいぞうきんで拭き取って下さい。
また汚れのひどい場合はうすめた中性洗剤で拭き取ったのち洗剤が残らないように拭き取って下さい。

●木材部は木材保護着色塗装済みで出荷しておりますが、塗装部は経年変化により退色します。木材部の保護の為に当社純正塗料で1～3年に1回を目安に再塗装をして下さい。

●再塗装の前に水洗いをし、よく乾燥させてから塗装して下さい。

●塗料には強力な防腐薬品が含まれていますのでスプレー塗装は避けて下さい。

●ニスやペンキは絶対に使用しないで下さい。

取説コード

E40

IE-E①